



県警察医として犯罪捜査への功績が認められ、本町で初となる警察協力章を受章された笹尾さん

笹 県警察医として犯罪捜査へ積極的に協力
尾知さんに警察庁長官から警察協力章

7月9日、笹尾医院院長で県警察医の笹尾知さん（87歳・古川町）が、警察部外功労者表彰として、警察庁長官から警察協力章を授与されました。

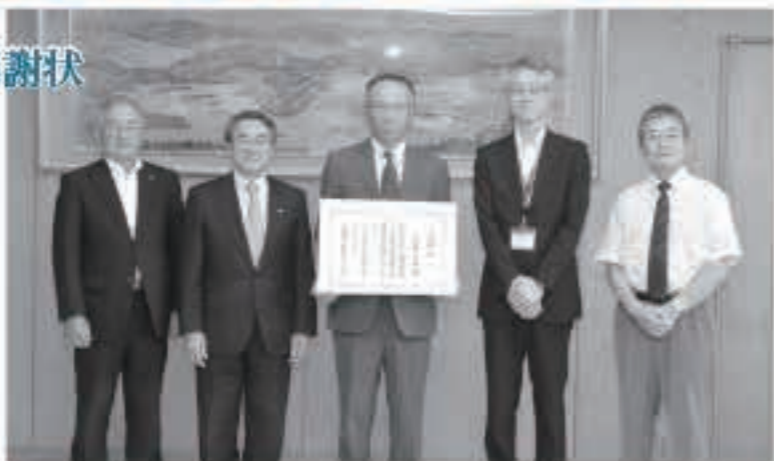
警察協力章は、警察における民間人への最高位の表彰で、笹尾さんが本町で初の受章者となります。

笹尾さんは、平成4年から27年間、県警察医として五城目警察署管内における変死者の検案を行うなど、犯罪捜査の協力で特に顕著な功労があると認められ、今回の受章となりました。

嶋 長年の人権擁護委員活動に功績
嶋和良さんに法務大臣から感謝状

7月6日、平成27年から6年間にわたり人権擁護委員を務められ、本年6月30日付けで同委員を退任された嶋崎和良さん（67歳・下樋口）に、法務大臣から感謝状が贈られました。

嶋崎さんは、地域住民からの人権に関する相談や、五城目小学校での「人権の花運動」、県立五城目高等学校での「人権教室」を通じ、児童・生徒の人権に関する啓発活動を行うなど、みなさんの人権を守るための活動や、自由人権思想の普及に尽力されました。



人権擁護委員の活動に尽力され、法務大臣から感謝状が贈られた嶋崎さん（写真中央）



生徒たちは18グループに分かれ、人権擁護委員と一緒に意見を出し合いました。

インターネット上のトラブルから身を守る
五 城目高校で人権教室

7月17日、県立五城目高等学校で1年生73人を対象に人権教室を行いました。生徒たちは、啓発用のDVDを視聴し、インターネット上でのトラブルに巻き込まれないよう、利用する際の注意点や予防・解決策について理解を深めました。

最後には、生徒を代表し□□□□さん（東磯ノ目）から「今回の人権教室を通じて、インターネットの怖さを改めて感じた。インターネット上への投稿は、内容をよく考えて慎重に行いたい」と感想がありました。

朝 家で余ったマスクの寄付を呼びかけ150枚が集まる
市通り事務所の皆さんが五小へマスクを寄贈

7月13日、朝市通り事務所の皆さんが、マスク150枚を五城目小学校へ寄贈しました。

同事務所では、町内の各家庭などへ余っているマスクの寄付を呼びかけ、近隣地域の方々や町職員等から150枚が集まりました。

マスクの寄贈を受けた五城目小では、新型コロナウイルス感染症対策のほか、各学級での給食配膳などの際に活用することとしています。



朝市通り事務所の皆さんからマスクを受け取る、五城目小の小玉校長◎

園児たちが花火の安全な遊び方を学ぶ
も りやまこども園で花火教室

7月22日、もりやまこども園で「こどもの花火教室」を開催しました。

花火教室は、園児たちに花火の安全な遊び方を学んでもらおうと町消防署が企画したものです。

園児たちは、実際に花火を手を持ちながら、署員たちから安全な使い方を教わりました。



園児たちは、町消防署員の指導のもと、花火の安全な遊び方を学びました。



町防犯協会の皆さんが、生徒たちへワイヤーロックを配布し、自転車の盗難防止のための2ロックを呼びかけました

自転車に複数のカギをかける2ロックを呼びかけ
五 城目高校で自転車盗難防止の防犯活動

6月26日、県立五城目高等学校で町防犯協会や五城目警察署の合同による「自転車盗難防止」の防犯活動が行われました。

当日は雨が降る中、バスや徒歩などで登校してきた生徒へ自転車のワイヤーロックを配布し、複数のカギをかける「2ロック」を呼びかけました。

2つのカギをかける「2ロック」をすることで、窃盗犯のやる気をそぐ見た目の効果も生まれ、盗まれにくくなります。盗難被害に遭わないよう、自転車には2つ以上のカギをかけましょう。

消防団と消防署が連携し防災力の向上を図る
消 防団教養研修・火災防禦訓練を実施

6月21日、28日、7月12日の3日間、町消防本部で町消防団教養研修・火災防禦訓練を実施しました。

今回の訓練は、新型コロナウイルスの拡大防止のため、実施予定であった訓練等を中止としたことから、実践に即した訓練の場を設け、消防団と消防署の連携を強化するという目的で実施。参加した団員54人は、町消防署員から訓練方法などの説明を受けた後、屋外で放水・補給訓練を行いました。

今後もこのような訓練を実施し、両者の連携を深め、防災力の向上を図ります。



消防団員の皆さんと消防署員が連携しながら、現場に出動した際の動きなどを確認しました。